

水無湿性植物希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・富山森林管理署
所在地	富山県南砺市
面積	215.59ha
設定年	平成16年4月1日設定、平成29年4月1日変更
保護林の概要 (設定目的)	ミズバショウ、リュウキンカ、コバイケイソウ、カタクリ、ヤマトリカブト等が見られる貴重な湿原及び周囲は100年を超す貴重なブナの天然林であるため、それらの個体群の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、高山植生等調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。 高山植生等調査として調査プロット（5m×5m）を3箇所設定し、プロット内に出現した種について、階層ごとに種名、被度・郡度を記録すると共に、プロット内の主要な種の分布状況を模式図で記録する。
結果概要	イノシシによる植生被害の影響が懸念される。また、エゾノギシギシなど外来種の侵入が確認された。 ミズバショウやヤマトリカブト等の湿地性の種の減少が見られ、湿原の陸化・乾燥化の影響が懸念される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。